

生活支援サービス基盤整備モデル事業の実施について

1. 趣旨

介護保険制度の改正により、要支援者向けのホームヘルプ、デイサービスが地域支援事業へ移行し、既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な主体を活用し、多様な生活支援サービスを提供することとされている。

この生活支援サービスの提供体制を確保するため、生活支援コーディネーターを配置し、協議体を設置するとともに、担い手の養成や不足するサービスの創出等を行うモデル事業を実施する。

2. 概要

委託等

○生活支援コーディネーターの配置

- ・協議体の設置、運営

構成：市、市・区社協、あんしんすこやかセンター、NPO、民間事業者、ボランティア団体、地域団体等
役割：地域の課題や資源の情報共有、地域資源の更新の仕組み作りなど

- ・地域に不足するサービスの立ち上げ支援（住民ボランティア）
- ・担い手と活動の場の調整
- ・関係者間の情報共有と連携の体制づくり

委託等

○担い手の養成、担い手と活動の場のマッチング

地域での福祉活動への参加に向けて必要な知識等を習得する研修を開催。
退職前高齢者や地域住民の参加を働きかけ。修了生に活動場所の紹介等支援。

助成等

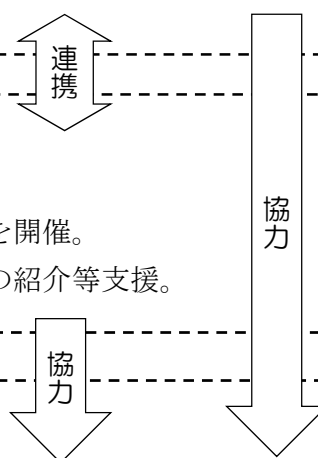
○地域に不足するサービスの立ち上げを行う団体に助成等

<対象>新設団体又は既存団体の新規事業

<取組>地域の高齢者の課題の解決に資する高齢者による有償ボランティア活動
単身・老々高齢者を対象とした見守り兼配食サービスなど

<助成>設立準備、事務所等活動拠点の初度設備整備等

※運営費は団体の事業収入で賄うことを目標



3. スケジュール

26年 8月～ 事業者選定手続

10月 事業開始